
むぎのデンセツ

伽砂杜ともみ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

むぎの「テンセツ

【Zコード】

N1777E

【作者名】

伽砂杜ともみ

【あらすじ】

1話完結型の短編です。ミニチュアダックス、むぎ（ブラックタン）の数々のしでかしてきた出来事。彼女はどれだけのことを、かんがえているのだろう。そして、学んでいけるのか。がんばれ、むぎ！

たのじーのー・いれじーのー（前書き）

我が愛娘、むぎ。

今までじでかしてきた本当の出来事を、むぎ視点にて掲載中。
親ばか発言も出でますので、ご注意を。

たのしーのー、いれしーのー

あたし、むぎー。

毎日がたのしー。

毎日がしあわせ。

起きたときから、寝るときまで。
みんないるだけで、うれしーのー。

むぎはヨソから来た口だけど、それがなに?
みんなみんな、遊んでくれる。やさしーし。
家族つてみとめてくれてるの。

「あそんでーー!」

つて突進しては、こきおこあまつて頭突きしづか。つかひや。

みんなのアゴを、まんべんなく頭突いたよー。

うれしくて、たのしーから。

遊んでくれるまで、こきおこを止めにならもんですか!

「わかったーー! わかったからーー!」

みんなおなじ事いつよ。

「じめんなさい」

も聞いた氣もする。

うれしそうきてパーくつちやうから、よく覚えてないんだよね。
だから、みんなのアゴ以外にも、頭ぶつけたり氣はするんだけど
……氣のせいだね。

だつて遊べれば、関係ないし。

その「ひ」、机の下をぐぐつて遊ぶときなんて、みんなが頭をわわつてくれるようになつたのよ！
それがもう、うれしくて！

「たのしーね！　たのしーね！」
「わかつたからー。おちつけ！」
おとーさんは、いつもやーいっててくれる。
けど、おちつけって……なに？　まあにっか。

そんなこといいながら、おとーさんは大騒ぎさせしてくれるの。
ふふふー！　おとーさん、むぎの」とスキでしょー。

ともちやんにも、うれしくてしかたなくて、飛びつぐの。
いきおこ余つて、ともちやんの手をかんじやつた。
おもいつきり、かんじやつた。

「いたい！」
つて叫んで、むぎになにかがぶつかつて。
立つていられなくて、座りこんじやつた。
ともちやんが、なにかしたの。
そしたら頭がくらくらして、「ひ」かなかつたの。
キライなの？　ともちやん、むぎの」と、キライ？
おかーさんが、「ワイ声でなにかをいつて。
ともちやんが、ふるえる声でなにかをいつて。

「むぎ、おこで？」

ともちやさも、くるじやうな顔。すこし手をにぎりつながる。
むぎのこと、おひざに乗せてくれて、顔をのぞきこんでくれる。

「かんだら、ダメよ。いたい、いたいのよ」

「いたいの？　いたい。いたいのね」

おひざの上にいたり、つれしくなつちやつた。

だつてキライなら、さわりたくもないでしょ？
だつてキライなら、口をあきたくもないでしょ？

ともちやんを見てたら、やつとコワイ顔じゃなくなつた。
むぎが、じつと見てたら、なでてくれた。
そしたら、もつともつとうわしーの。

「あそんでー！」

つて、また指をかんじやつた。

そしたら、またコワイ顔。

でも、頭くぐりしなかつた。なにも飛んでこなかつた。

むぎだつて、ちゅうどだけ、しまつた！　つて思つたんだよ？
ちょっとだけ、すこしならっこかな？　つて思つたけど。

ともちやんは、ヒトサシ指とオヤ指で、むぎの口をあわよくびか
るのー

「いたい……あ～ん、しなこ
つて、ひくーい声で。

イヤだもん。やめてよ～。

つて、またかんだら、また口をあけよひとする。

なんで？ なんでそんなことあるの？

でも、ともちゃんが「いたい」つていうと、口があけられるの。

ともちゃんの顔を、田だけで見て、やせしーくかんでみた。
そしたら、口ワイ顔じやなくなつたの。
すうい、すういこつれしー顔したの。

ともちゃんも、「れしー？」
むぎも、「れしー！」

つて飛びついたら、また頭突きしちやつた。

なんか、田からミズが出てるよ？

ともちゃんつて、スゴイことができるんだね。

田からミズだしながら、ともちゃんはむぎの首を下に向しつけた
の。

「いたいでしょー！」

え？ いたかつた？ むぎ、わかんなかった！

これは、あそんでくれてるの？ おしつけゲーム？

次はどうするの？

たのしー！ すうごいたのしー！

ともちゃん、あそんでくれてるのよ。

おとーさんみたく、力いっぱい、あそんでくれてる。

で、次はどうするの？

「……もつ、むさをなんとかしてーー。」

「いいから、むさとあそんでーー。」

そして、いつものように頭突きになる。

毎日が、たのしー。

毎日が、しあわせ。

今日は、なにしてあそぼーか?

たのしーの一・「れしーの一」(後書き)

主演：むぎわ（ミニチュア・ロング・ダックスフント。毛色はブリッ
クタン）

内容からして、「コメティイー」なのですが、むぎの名誉のために、「あ
る意味コメティイー」と長めにつけさせていただきます。

内容的には、ノンフィクションですが、むぎ視点のため、区分には
入れておりません。

彼女は、いつだって真剣だ！

この頃のむぎわは、3ヶ月くらいです。

ネンネするのー

田がさめたら、たくさんあそんで。
もうダメだとおもつたら、ちかくにいる人にへりついてネンネな
の。

ともちやんが足を外のほうに折りまげてすわって、
そのカドツコに顔を入れて、ネンネする。
すっごく安心。

かくれてるでしょ？ あたし、みんなに見えてないのよー。

そんなどもちやんは、なんか、いつもよつずつとあつたかい。
あつたかいより、熱いくらい。
なのに急に、ともちやんは立ち上がつていつの。

「寒いー。」

急に、ハナがすーっとして、むぎのがむこんですけび。
ついきたくなくて、ともちやん見てたら、大きな布を持つきで、
かぶつかひつた。

ともちやんが、消えちゃう！
どうしたの？ なんでなの？ むぎの前から消えちゃいけないの
よー。

ながーい布の山が、田の前にあるの。
でも、ともちやんがいないの。いないの。どこ見ても。
かなしくて、寒くなつて、山をつたつてあるいたら……

はしごに、ともちゃんの顔があつたのよ！
びっくりなの！

ともちゃんたら、体がなくなっちゃったのよ。顔だけしか、なくなっちゃたのに。

もむかよむかやうじ、ネンネしてゐる。顔だけで。

す"J"くす"J"く、 もびしかつたから。
少しでもちかくで、 ネンネするの。
顔によじのまつて。 上まできたら、 もう安心ね。
ともちやんと、 こいつはもうネンネするのよ。

カーナーのアーティスト、ヒルトラン、スコット、マーヴィーなど、

なんか、

「息が出来ない！」と思つたら、むきのお腹か。もう。意外とペッタリしたお腹なんだから！横になつて首に乗つたら、しまるつちゅーの。……あー、頭痛い」

なんていつてるのが、むぎ、よくわからなかつたけど。
ひどいのよ？

顔とせめぐへ、三のせしのせつて、むきを引きはなすのもー。

山のなかみが、ともかくさんの体だつて」とせわかつたかど……

わざわざ、とわざわざひいてこでネンネしたいの。

ともちやんだ。つて、安心してネンネしたいの。
だつて、いつもよりも、あつたかいんだもん。

だから、ともちやんの所に、がんばつてある「ひ」したんだね。
むずかしいの。

丘の頂上は、すうじへ歩きこへーの。

グニヤグニヤしてて、ポヨンポヨンしてて。

でも、なんとかまた顔まできたよー。

ともちやんたら、ずるこのよ？ もうネンネしてるの。

だからむぎゅむぎゅ、せりとしつかり。こつしょにネンネできるといふ
で、ネンネするの。

せつあよつも、高いところ。

せつあよつも、なんかボロボロしてネンネじがらみにがい。

安心なー

そしたら、またすぐこ、むぎゅをくわかなじちやーのよー。
ともちやんたら、じりじてそんなじ、こじわぬかねの？

「だからー、愚出来なーってー。」

えー？ よくわかんないもん。

むぎゅ、だれかにくついてネンネすると、安心するの。
ネンネして、田がわめたら。また、たくさんあそんでねー。

ネンネあるのー。(後書き)

これも、まだむぎが、お腹ぱってりなチビッこの頃のお話です。

苦しかつたんだよー。ほんとこ。

最初は、首に乗り。次に顔に乗り。窒息するかと思いました。

……でも、お腹のペッタリを加減は、なんか面白かったけど。

最終的に、大笑いして、頭痛を押しながら、むぎをなでなでした記憶があります。

今やられたら……キツイですね^ ^ (6キロやんなので)

あなたやべれるの？

おトイレおぼえたから、ほかの所にも、行けぬよいつなつたのよー。
みんながいる所にしかいられなかつたのこ。

なんか高いカベがあつてね？

えいやー、つでしたら、手がかかるから、向いつを見られるの。
でもね、むじうにはいけないの。
みんな、またいで向ひに行くのよ、むわがびんなにガンバッテ
も行けないのよ。

向いつになるとむわがんを呼んだけど、

「トイレ覚えたらね」

つで、こつもこつ。

むわい、よくわからなこつこついるのー。

でも、一つの所にトイレしたら、かくべかくべわらわらの。
みんな、うれしいみたい。
むわきをアタマからシップまで、ずこずこなでてくれるのよー。

うれしくて、うれしくて。

でも、その手をかんじやつ。うれしこときつて、なにか口にし
たくない？

みんなわかったのに、すぐ口でイカするのよ~。

でもね、むさ知つてるの。

おじいちゃん、「おひざにこつけ、『ロボ』かぬと わらひてくれるのよ~

それで、「かないで、ちゃんとお力を見て、『おんなじこするの。

「いたい。ダメよ? わかつた? セウね……イヤーパな」

えへへ! 鼻をツンツンされたのがうれしくて、またその手をセー
ーととかんじやった。

セーとしたら、おじいちゃんのよ。
でも、つに力がはこつちやう。

むさかしによね? つてこつこつぱぱこ~.....

おじいのー カベをびけてくれたの。

もへ、すつゞくすつゞく 「れしへ、おかーさんのといひもで
はしつてこつたの。

おかーさんは、なんだか上のせりべんとんこつて顔を立てるの。

もう! むさを見てくれないから えいやー つて手をおしつけ
てみた。

ウレシーフトヒと、アピールしてみたのよ~。

そしたら、ゴシンって音がして、むさ、おかーさんに おじいちゃん
ちやつたみたい。

なんで「みたい」なのかって？

だって出された事が、つれしくてつれない。

そんなときは、ねはなしなんて聞こえてられないもんなー。

やしたりおかーちゃんがこいつの。

「とも、おやれを揃あそんでおこひよー。 もへ、すいしんこヒザ痛こー。」

じめがちさんが ひかづいてきたのよー。 あやんでくれるのー。
つれしくて、つれしいから、走り回つてあやんだの。

ねとーちゃんが まつてたつじでジャマするのよー。

みんなで あやんでくれるの。
おこかけっこなの。

せつたいに、まけないんだからー。

あそんでくれるの？（後書き）

居間に出入り口に、バリケード（ティッシュケースの五箱包み）を作つて、むぎが出られないようにしてました。

居間に新聞紙を敷き詰めて、どこにでもトイレしたら、ほめちぎる。しばらく田にちがたてば、大体三箇所くらいにトイレの場所が決まつてきます。

そしたら、しない部分の新聞を取り払います。

何日かしたら、一箇所にして。

最終的には、一箇所で出来るまでになります。

……もちろん、失敗したら、一部屋敷き詰めに逆戻りですが。

そして、一箇所にするよつになつたら、すこへしづつ動かしていつて、トイレに決めてた場所まで移動できたら成功です！

移動も日をあけながらしてくださいね。

などという事をしたので、小さなむぎはバリケードを越えられなかつたのです。

実際は、日に日に大きくなる彼女。力も強くなる彼女は、自力で「えいや」をし、バリケードなぎ倒してましたけど（苦笑

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1777e/>

むぎのデンセツ

2010年10月9日07時37分発行